施策評価シート

施策等名称	持続：将来に続く持続可能な事業運営	体系番号	0501011103
		主管課	水道課

1 施策基本情報

現状と課題	平成23年（2011年）に「茅野市水道ビジョン」を策定し、現在まで老朽管化施設・管路の更新、水道事業の統合等、様々な方策を進めてきました。 今後、将来の給水人口の減少に伴う給水収益の減少に伴う財源確保、老朽化施設の大量更新等、水道事業を取り巻く環境は、より一層厳しくなっていくものと予想されています。
めざす将来像（あるべき姿、基本的な考え方）	今後、水需要の減少に伴い、給水収益の減少が見込まれますが、水道施設の更新需要は増大傾向にあります。将来にわたって健全な事業運営を持続するため、中長期的な水需要予測を踏まえて、更新時の施設の適正化、施設の長寿命化、事業の効率化を図りながら、健全かつ透明性のある事業運営を維持します。

施策指標		指標名称	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
	①	石綿セメント管の残延長	石綿セメント管の延長（km）	21.50	11.00 0.00
	②	経常収支比率	（経常収益/経常費用）×100（%）	131.00	100以上 100以上
	③	普及率	（市営上水道給水区域内の給水人口/市営上水道給水域内人口）×100（%）	99.90	100.00 100.00
	④	有収率	（年間有収水量/年間配水量）×100（%）	79.00	84.00 90.00

施策の体系

施策の柱1

名称	経年劣化した水道施設の更新	主管課	水道課
詳細	今後、耐用年数を迎える水道施設が増加するため、重要度・優先度を勘案し、計画的に改築更新を進める。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	石綿セメント管の残延長	石綿セメント管の延長（km）	21.50	11.00 0.00
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	老朽管更新事業	実施
2	取水・送水ポンプ整備事業	実施
3	基幹配水池更新事業	実施
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱2

名称	安定給水向上のための施設整備	主管課	水道課
詳細	人口減少に伴い水需要の減少が予測されることから、改築更新時には将来の水需要を見込んだ配水池容量及び配置をする。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	原水・浄水事業	実施
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱3

名称	施設管理水準の向上	主管課	水道課
詳細	水道施設等を予防保全し延命化するために維持管理マニュアル等の検討を進める。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	原水・浄水事業	実施
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	持続：将来に続く持続可能な事業運営	体系番号	0501011103
		主管課	水道課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系

施策の柱4

名称	経営基盤の強化	主管課	水道課
詳細	経営の効率化等による経営基盤の強化に努める。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
1	経常収支比率	（経常収益/経常費用）×100（%）	131.00	100以上	100以上
2	有収率	（年間有収水量/年間配水量）×100（%）	79.00	84.00	90.00
3	普及率	（市営上水道給水区域内の給水人口/市営上水道給水域内人口）×100（%）	99.90	99.90	100.00

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	水道事業経営管理事務	実施
2	上水道料金等賦課徴収事務	実施
3	水道事業経営管理事務	実施
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱5

名称	業務体制の強化と効率化	主管課	水道課
詳細	技術系職員の高齢化による若い世代への技術の継承や民間委託等による事業の効率化を図る。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
1					
2					
3					

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	水道事業経営管理事務	実施
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱6

名称	水道利用者サービスの向上	主管課	水道課
詳細	水道利用者に水道事業について理解を深めてもらうために、各種情報提供の充実を図る。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
1					
2					
3					

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	原水・上水事業	実施
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱7

名称	環境対策	主管課	水道課
詳細	水道事業全体を通じて、水資源の有効活用や未利用エネルギーを活用することで環境負荷を軽減する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
1					
2					
3					

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	基幹配水池更新事業	実施
2	水道事業経営管理事務	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	持続：将来に続く持続可能な事業運営	体系番号	0501011103
		主管課	水道課

※施策の柱が8つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系

施策の柱8

名称	国・県及び他事業体との連携強化	主管課	水道課
詳細	国・県及び近隣事業体との連携を強化し、危機管理体制の強化に努める。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	水道事業経営管理事務	実施
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱9

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱10

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策等名称	持続：将来に続く持続可能な事業運営	体系番号	0501011103
		主管課	水道課

2　指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.			中間目標値	実績値 ／ 達成率（実績値÷目標値）				
施策		石綿セメント管の残延長	21.50	21.37	21.27	21.27	21.26	20.63
1			11.00	51.47	51.72	51.72	51.74	53.32
変動要因等	2018年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.13Km）						
	2019年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.10Km）						
	2020年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.00Km）						
	2021年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.01Km）						
	2022年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.63Km）						
施策		経常収支比率	131.00	133.00	125.00	128.00	130.00	120.00
2			100以上	達成	達成	達成	達成	達成
変動要因等	2018年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2019年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2020年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2021年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2022年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
施策		普及率	99.90	99.90	99.88	99.89	99.89	99.89
3			99.90	100.00	99.98	99.99	99.99	99.99
変動要因等	2018年度	決算報告書に基づくが、変動はなかった。						
	2019年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2020年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2021年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2022年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
施策		有収率	79.00	79.00	78.64	78.55	78.57	78.58
4			84.00	94.05	93.62	93.51	93.54	93.55
変動要因等	2018年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2019年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2020年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2021年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2022年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
柱1		石綿セメント管の残延長	21.50	21.37	21.27	21.27	21.26	20.63
1			11.00	51.47	51.72	51.72	51.74	53.32
変動要因等	2018年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.13Km）						
	2019年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.10Km）						
	2020年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.00Km）						
	2021年度	石綿セメント管の整備に伴う除却（0.01Km）						
	2022年度							
柱4		経常収支比率	131.00	133.00	125.00	128.00	130.00	120.00
1			100以上	達成	達成	達成	達成	達成
変動要因等	2018年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2019年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2020年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2021年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						
	2022年度	決算報告書（損益計算書）に基づき、経常収益が経常費用を上回っているため						

柱4		有収率	79.00	79.00	78.64	78.55	78.57	78.58
2			84.00	94.05	93.62	93.51	93.54	93.55
変動要因等	2018年度	決算報告書に基づくが、変動はなかった。						
	2019年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2020年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2021年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2022年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						

施策等名称	持続：将来に続く持続可能な事業運営	体系番号	0501011103
		所管課	水道課

No.		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			中間目標値	実績値 ／ 達成率（実績値÷目標値）				
柱4		普及率	99.90	99.90	99.88	99.89	99.89	98.89
3			99.90	100.00	99.98	99.99	99.99	98.99
変動要因等	2018年度	決算報告書に基づくが、変動はなかった。						
	2019年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2020年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2021年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						
	2022年度	決算報告書に基づくが、大きな変動はなかった。						

施策等名称	持続：将来に続く持続可能な事業運営	体系番号	0501011103
		主管課	水道課

3　評価・改革改善　　（単位：円）

	項　目		2018年 （前年度比）		2019年 （前年度比）		2020年 （前年度比）		2021年 （前年度比）		2022年 （前年度比）	
評価	投資額	事業費(円)	1,658,577,035		953,762,681	0.58	950,668,769	1.00	1,221,470,228	1.28	1,138,813,941	0.93
		うち一財(円)										
		増減理由（一般財源前年度比±10%以上の場合に記載）										
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
	総合評価	主な取組内容や成果	継続して一定の利益を確保することができている。また、主要事業である北大塩中区配水池整備事業が概ね終了し、来年度に外構工事を残すのみとなった。		継続して一定の利益を確保することができている。今年度は、前年度に比べ、大規模工事が減少した。		継続して一定の利益を確保することができている。また、主要事業である埴原田配水池築造工事が着工し、来年度での完成を予定している。		継続して一定の利益を確保することができている。また、主要事業である埴原田配水池築造工事が完了した。また、夢科第6配水池築造工事が着工し、来年度での完成を予定している。		(R4評価) 継続して一定の利益を確保することができている。また、主要事業である夢科第6配水池築造工事が完了した。 (総括評価) 継続して一定の利益を確保することができた。基幹となる配水池の築造工事を予定とおり進めることができた。	
		課題	引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。		引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。		引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。		引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。		(R4評価) 電気料金の高騰等物価上昇の影響により、純利益が減となった。 (総括評価) 引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。	
改革・改善	改革・改善内容		北大塩中区配水池への紫外線処理装置設置工事はコストを抑えるとともに、国庫補助を受けることができた。		老朽管更新事業では、早期発注や関連事業との調整により、計画を大幅に上回る成果を得ることができた。		老朽管更新事業の更新延長実績は、昨年度より減少したが、埴原田配水池築造工事が着工し計画的に事業を進めることができた。		老朽管更新事業の更新延長実績は、昨年度と大きな変化はないが、埴原田配水池築造工事が完了し計画的に事業を進めることができた。		(R4評価) 老朽管更新事業の更新延長実績は昨年度を上回ることができた。また、夢科第6配水池築造工事が完了し計画的に事業を進めることができた。 (総括評価) 令和2年度に策定した「茅野市上水道事業基本計画」を基に計画的に事業を進めるとともに、財源確保に努めていく。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1	
		重点事務事業	3		3		3		3		3	
		理　由	基幹配水池の更新等は事業費用が大きく、計画的に行うことが不可欠であるが、事業実施の可否によって、水道事業の経営に多大な影響をもたらすため。		基幹配水池の更新等は事業費用が大きく、計画的に行うことが不可欠であるが、事業実施の可否によって、水道事業の経営に多大な影響をもたらすため。		基幹配水池の更新等は事業費用が大きく、計画的に行うことが不可欠であるが、事業実施の可否によって、水道事業の経営に多大な影響をもたらすため。		基幹配水池の更新等は事業費用が大きく、計画的に行うことが不可欠であるが、事業実施の可否によって、水道事業の経営に多大な影響をもたらすため。		(R4・総括評価共通) 基幹配水池の更新等は事業費用が大きく、計画的に行うことが不可欠であるが、事業実施の可否によって、水道事業の経営に多大な影響をもたらすため。	